

第20回 人文学の挑戦

鎌倉時代に
生きた

『源氏物語』

— 『源氏物語』への愛と物語制作 —



関本真乃

北海学園大学
人文学部日本文化学科講師

講師

概要

『源氏物語』はその成立以降現在にいたるまで、千年以上にわたって人々から愛されてきました。主な現代語訳だけでも何種類もありますし、『源氏物語』を題材にした映画・漫画・ライトノベル・ゲームなども枚挙に暇がありません。このように『源氏物語』はさまざまな形で楽しまれていますが、それは現代に限ったことではありません。

今回は鎌倉時代を取り上げ、『源氏物語』がどのように読まれていたのか、『源氏物語』の愛読者たちが、どのような工夫を用いてそれぞれの物語を作っていたかに迫ります。

具体的には、『源氏物語』の古注釈や鎌倉時代に作られた物語、『今としかへばや物語』『海人の刈藻』『石清水物語』『苔の衣』『我身にたどる姫君』などを取り上げる予定です。

2019年3月24日[日] 15:00-16:30

紀伊國屋書店札幌本店

sapporo55ビル 1F
インナーガーデン

札幌市中央区北5条西5丁目7番地 ☎ 011-231-2131

参加無料

予約不要